

# 上野幌・青葉地域 北側部会 ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会はこれまで地域の4つの小学校を対象に検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

## 第8回部会について

6月27日（水曜日）午前10時から、上野幌小学校で第8回部会を開催し、「新しい小学校」の校名公募の結果報告や検討などを行いました。

## 校名案のご応募をありがとうございました。

### 《校名の決定方法》

次回第9回部会において、応募いただいた校名案をもとに、各委員の推薦により絞込みを行い、事務局に寄せられた意見等も考慮して検討を行います。

■校名案についてのご意見を、事務局までお寄せください。

※応募いただいた校名案や、校名に関する協議内容については、4～5ページをご覧ください。

### ◆上野幌・青葉地域 北側小学校2校の状況

学校名	上野幌小学校		青葉小学校	
	平成29年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
児童数・学級数				
時点(5月1日現在)				
1年	29名 / 1学級	32名 / 1学級	44名 / 2学級	30名 / 1学級
2年	27名 / 1学級	30名 / 1学級	31名 / 1学級	45名 / 2学級
3年	28名 / 1学級	28名 / 1学級	52名 / 2学級	29名 / 1学級
4年	26名 / 1学級	30名 / 1学級	42名 / 2学級	51名 / 2学級
5年	33名 / 1学級	27名 / 1学級	32名 / 1学級	42名 / 2学級
6年	29名 / 1学級	35名 / 1学級	43名 / 2学級	32名 / 1学級
計	172名 / 6学級	182名 / 6学級	244名 / 10学級	229名 / 9学級
特別支援学級	情緒：1名/1学級 知的：4名/1学級	情緒：0名/0学級 知的：2名/1学級	情緒：8名/1学級 知的：3名/1学級	情緒：8名/1学級 知的：3名/1学級
教職員数				
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1
教諭	8	9	12(他通級指導教員4名)	11(他通級指導教員4名)
特別支援教諭	2	1	3	3
養護教諭	1	1	1	1
事務職員	1	1	1	1
用務員	1	1	1	1
計	15	15	20	19
開校年次	明治33年		昭和43年	
建物	校舎	屋内運動場	校舎	屋内運動場
	建築年度	昭和53年度	昭和43年度	昭和44年度
	面積	4,667㎡	1,015㎡	5,713㎡
校地面積	16,025㎡		12,273㎡	

## 小中一貫モデル研究 校についての (報告)

平成 30 年度から青葉中学校、上野幌小学校、青葉小学校が札幌市小中連携・一貫教育推進事業におけるモデル研究校に指定されました。どのような子どもたちの姿を目指し、どのような取組をするか、3校と教育委員会で検討を始めたところです。

今後も小中連携の取組について、部会において報告いたします。

## 地域説明会について (報告)

平成 30 年 2 月 24 日に上野幌小学校・青葉小学校において開催した地域説明会の場でご意見、ご質問などが多かった「通学安全」と「児童会館」について、事務局と子ども未来局から地域説明会以降の検討状況などの報告を行いました。

### 通学安全について

6月13日(水曜日)に青葉小学校で、6月20日(水曜日)に上野幌小学校でスクールゾーン実行委員会が開催され、統合後の新しい通学路を想定しながら、通学安全についての意見交換等が行われました。今後も通学安全に関する取組状況を部会において報告いたします。

#### 【主な意見など】

- ・青葉地域の児童が歩くと想定される通学路を考えると、速度制限の標識がない、歩道が狭いなどいろいろな課題があると思う。
- ・青葉町13丁目を通ってくる道路が危ないので、歩道の確保や除雪の仕方、速度制限を定めるなど、まずは行政に対応のお願いをするべきではないか。
- ・陽だまりロードを走る自転車が非常に多く、上野幌小学校前の通りの歩道を歩いてくる子どもたちがたくさんいる。安全確認をしてくれるか心配している。
- ・もしこの道路が通学路になったらどのような問題や危険性があるのかなど、地域の人にも話を聞きながら、いろいろな問題への対応をスピードアップするために、検討委員会や地域、教育委員会が力を合わせて警察へ要望するなど、前向きに検討をしていきたい。

### 児童会館について

担当の子ども未来局子ども企画課から、統合後の児童会館について説明がありました。

2月24日に行われた上野幌小学校と青葉小学校の統合校開校に向けた説明会の中で、児童会館の整備については、新設校の開校時期に合わせて、統合校の学校敷地内に新たな児童会館を整備する方向で検討していくことをご説明させていただきました。

検討の結果、学校統合後に活用する校舎の議論の中で学校敷地の状況が大きな要素であったことや、地域の皆様が小中一貫校の設置を要望しているという経緯があること、また、地域説明会における青葉地域の子育て環境の変化に対する不安の声があることを踏まえまして、当面は現状の青葉児童会館、上野幌小ミニ児童会館を継続していくことといたしました。

最終的には統合校に併設または近接して児童会館を整備するという方針に変更はありませんが、小中一貫校の整備について一定の方向性が見えてくること、また、統合後の青葉小学校の跡活用の状況や児童会館、ミニ児童会館の利用の状況を見て、児童会館を整備できる環境が整えば改めてご提案させていただきます。

## 地域の皆さまから 寄せられた意見 (報告)

前回部会及び地域説明会の開催後、地域の方々から寄せられたご意見について、事務局から報告がありました。

- 通学の不安を抱えている保護者の皆様の思いは切り捨てられるべきではない。スクールバス等が難しい状況であるならば、近い小学校に通えるよう校区の変更をお願いしたい。あるいは、距離が近い小学校に通うことを認めてもいいのではないか。
- 地域説明会において、朝に車で学校に送るという声もあったが、校門から玄関につながる道路は狭く、車の通行は危険。車での送迎が増えることのないよう、通学への不安解消につながる効果的な手当てを取ってほしい。
- 1小学校区に1つの児童会館という基準があるようだが、だからと言って需要の高い児童会館を閉館するのもおかしくはないか。「既存の児童会館については、一定程度の需要が見込まれる場合、需要が減少するまでは継続する。」という経過措置を設けるのが道理なのだと思います。
- 統合後のクラス編成について、1学年定員いっぱいの2クラスにはせず、ゆとりをもたせて3クラスにしてほしい。

(平成30年3月6日 FAX)

- 教科書などの荷物が総重量で最大10キロくらいになる日もあり、1、2年生の体重から考えても負担が大きいです。通学バスを運行することは難しいのかと思いますが、1、2年生の歩く距離、体への負担を考えると、教科書等を学校へ置いてくることを認可して頂きたい。

(平成30年4月17日 メール)

- 青葉小学校は青葉地域に唯一の小学校なので、なくしてもらっては困る。公共施設がなくなることには不安を感じている。

(平成30年5月11日 電話)

- 「児童クラブ利用」といった理由の場合には、指定校以外の小学校に通学できるということだが、学校統合の場合は、自宅から近い学校に通学できるようにしてほしい。
- 児童クラブの利用といった理由がある場合には、同じ地域の児童でも別々の学校へ通っているのが実態なのであれば、学校統合の場合も保護者の判断でよいと思う。統合により学校から遠くなるという不利益を被るのだから、中学入学時の分かれなども含めて、保護者の判断に任せてほしい。

(平成30年5月11日 電話)

- 共栄小学校の校区の、青葉町地区を青葉小学校の校区にしてください。将来的に市営住宅に子供のいる家庭も戻ってくることも考えられます。青葉小学校を現地で存続させてください。

(平成30年6月13日 郵送)

## 新設校の校名 (検討)

児童、保護者、地域の方から応募いただいた137の校名案についての意見交換を行い、校名の決定方法について検討を行いました。

### 「新しい小学校」の校名案：五十音順

あいの森	青上〔アオガミ、アオカミ、セイジョウ〕※	青空	青野〔アオノ〕
青野幌	あしりべつ	厚別※	厚別おおぞら
あつべつきぼう	厚別こだま	あつべつ木の実	厚別双葉
厚別ふるさと	厚別緑	厚別南※	厚別未来
厚別ゆめの里	厚別若葉	青幌〔アポロ〕	あゆみの
勇〔イサミ〕	えがお	大空	おおもり
かがやくさくら	がくりよく	風の丘	神〔カミ〕
北風	共同	きらきら	草上〔クサカミ〕
慶翔	光栄	光輝〔コウキ〕	厚希〔コウキ〕
厚南〔コウナン、アツナン〕	厚葉〔コウヨウ〕	幌葉〔コウヨウ〕	厚和
木もれび	彩の杜〔サイノモリ〕	さくら※	さくらいっぱい
さくらがおか※	桜紅葉〔サクラコウヨウ〕	桜の道	さくらの森
さくらみち	札幌未来の森	しあわせ	自然
昇徳	翔南	しんけいこうしょう	新札幌※
新札幌のおか	新札幌ひかり	新札幌光の丘	新さっぽろふたば
新さっぽろボラリス	新さっぽろ緑	新さっぽろ南※	新みどり
森陽〔シンヨウ〕	新緑〔シンリョク〕	森林※	すずらん
スマイル	すみれ	生祥〔セイショウ〕	青南〔セイナン〕
前洋〔ゼンヨウ〕	大樹〔タイジュ〕	太陽〔アポロ、タイヨウ〕	たくましい
だぶる	つくし	ともだち	ともなか
なかよし	にこにこ	希〔ノゾミ〕	野々葉※
のびのび	のびやか	ノホロの風	のほろの道※
野山	のりしま	ハッピースター	花ノ〔ハナノ〕
光※	光の子	陽だまり※	ひだまりの杜
ひまわり	日和〔ヒヨリ〕	双葉※	不倒
ふはむ	北洋	北海青野	緑
みどり丘★	緑ヶ丘★	緑栄〔ミドリサカエ〕	みどりの森
南の森	未来※	未来厚別	未来の森
みんな元気	明青〔メイセイ〕	明陽	明倫館〔メイリンカン〕
森の愛	森の梢	やなた	ゆうき
結〔ユウキ〕	友信〔ユウシン〕	雪の山	豊芽〔ユメ〕
ゆめの	ようかい	ようかいゲゲゲ	四つ葉
楽学大遊〔ラクガクダイユウ〕	量園〔リョウエン〕	緑葉〔リョクハ〕	緑光〔リョッコウ〕
レインボー	若草	若葉※	若葉野〔ワカバノ〕
若芽〔ワカメ〕			

- 漢字、ひらがな、カタカナの表記が異なる校名案は1つに集約し※を記載
- 読み方の記載があった校名案は、〔 〕にその読み方を記載
- 札幌市内にある他の小学校の校名案は、★を記載

## ◆委員意見

### ◎いただいた校名案について

- 自然を題材にした校名、地域や学校の歴史に関する校名が良いのではないか。
- 現在、「厚別南中学校」があるので、将来的に小中一貫校を目指すことを考えると「厚別南」には違和感がある。
- 少し離れているが「新札幌」という名前は違和感がない。
- 陽だまりロードから「陽だまり」の名前を採用するのが良いと思う。
- 他の小学校のことを考えると、「新札幌」の小学校はひばりが丘小学校、「陽だまりロード」は共栄小学校というイメージを、それぞれの地域が持っているのではないか。
- 「新札幌」の名称を使うのであれば「新札幌〇〇」のような校名が良いのではないか。
- 上野幌小学校と青葉小学校の二つの学校が合わさることに縛られることなく、新しい学校というイメージのほうが良い。
- 平仮名表記が良いのではないか。

### ◎校名の決定方法について

- 南側では、両学校の校歌に「ノホロ」という言葉があるところで選考が割りとスムーズに進む要素があったが、青葉小と上野幌小では共通するものがあまりなく、早急に案を絞り込むのはむずかしい。
- 学校の名前は流行などでつけるべきではない。名は体を表すことから、きちんとした校名を付けるのが我々の責務ではないか。
- 校名案を見ると、地名や緑といったものが非常に多いが、そういったことも頭に入れて、委員1人2校名案程度を選考して、だんだんと絞り込んでいくのがいいのかなと思う。
- 自分の考えだけでなく、一旦持ち帰って、地域や周りのいろいろな人の意見を聞いたうえで検討したい。
- これだけたくさんの応募があったことからわかるように、おそらく地域の皆さんも、学校名に関して非常に関心をお持ちと思う。「新しい校名案がこんなにたくさんあるがどう思う？」という話をいろいろな方として、自分たちの意見も反映された上で決まったというふうに愛着を持ってもらえるような学校名にしていけたらと思う。
- ニュースにすべての校名案を記載して、校名案に意見がある方がきちんとと言える場面を作っておくことが大事と思う。

## 南側部会における検討状況 (報告)

上野幌西小と上野幌東小の統合について検討していた南側部会が、平成30年3月16日開催の第7回部会で閉会しました。

部会閉会以降、両校の閉校や新設校の開校などに関することは学校を中心に検討を行い、上野幌西小の跡活用に関することは厚別南まちづくり会議から推薦をいただいた委員で構成する「上野幌西小学校跡活用検討部会」において検討することとなりました。

## 今年度の委員一覧

今年度に入り、部会委員の交代がありましたので、全委員を紹介します（※下線は今年度から新たにご就任いただいた委員です）。

岩井陽生	青葉小学校 P T A	会長	
大嶋稔康	青葉小学校	校長	
北嶋雅見	道銀地域総合研究所	業務部長	司会委員
<u>コーマン ピンセント</u>	上野幌小学校 P T A	会長	
佐藤ひとみ	青葉小学校 P T A	会計	
塩川直美	上野幌小学校 P T A	元副会長	
高村誠	美しが丘緑小学校	校長	統合経験者
千葉千佳	青葉町自治連合会	主任児童委員	
土田義也	青葉町自治連合会	会長	部会代表
鳥本優至	青葉町自治連合会	まちづくり会議	
野原明美	上野幌小学校	校長	
橋本容子	上野幌町内会	女性部長	
村田勝雄	上野幌町内会	前副会長	
谷内政昭	青葉小学校 P T A	副会長	
山越麻希子	上野幌小学校 P T A	元副会長	
吉岡敏幸	厚別南町内会連合会	副会長	部会代表

(五十音順・敬称略)

## 確認事項

第8回の部会では下記のことを確認しました。

### <校名の決定方法>

- ・次回部会の際に、各委員は推薦する校名案とその理由を持ち寄る。
- ・事務局に寄せられた校名案についての意見等と合わせて絞り込みを行いながら、次回の部会でも校名の検討をする。

## 第9回の部会について

第9回部会は、8月下旬から9月頃の開催を予定しており、引き続き新しい学校の校名などについて協議を行います。

### ■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

#### ■小規模校検討委員会に関すること<小規模校検討委員会事務局>■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課（学校規模適正化担当）

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル5階

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

#### ■児童会館に関すること■

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課（放課後児童担当）

〒060-0051 札幌市中央区南1東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階

T E L 011-211-2989 / F A X 011-211-2943 E-mail kodomo.ikusei@city.sapporo.jp

※ 部会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。

<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>